



- 1 業界の課題を代表者が意見交換！ ..... 1  
～業種別会議を開催 part2～
- 2 “あきたの食”の試食求評会を開催！ ... 2
- 3 平成22年度  
「匠の技」継承支援事業の実施組合を  
募集！ ..... 4

- 新卒者就職応援プロジェクト事業がスタート！..... 5
- 組合等Web構築支援事業でホームページを制作！ ..... 6
- 景況レポート2月分 ..... 7
- 話題の広場  
中央会事業より/新会員紹介..... 8  
インフォメーション..... 8  
支援団体活動レポート/組合ティールーム..... 9
- 人事異動..... 10

## SPECIAL FEATURES-1 TOPICS

トピックス

### 1 業界の課題を代表者が意見交換！

～業種別会議を開催 part2～



本会では、組合や業界が抱えている問題や課題、将来の方向性等について意見交換し、解決を図っていくことを目的に、2月2日(火)～25日(木)まで、7回に亘り業種別懇談会を開催しました。

本トピックスでは、3月号に引き続き、懇談会での主な発言要旨をご紹介します。

#### 食料品製造業 2月16日(火)

- 菓子業界では、後継者不足を理由にした組合員の減少が目立つ。組合員が互いに話し合い、学び合う機会を提供していくことが必要である。
- 日本酒の消費拡大のためには農林業振興、観光客誘致等県経済全体の底上げが必要である。また、新たな販路を開拓すべく、大都市圏、そして海外への売り込み等を強化していくとともに、人材育成や異業種との連携強化が必要である。
- 稲庭うどんの“まがい物”が出回っており、地域団体商標取得等その対策が急がれる。また、原材料(小麦)を安定的に調達できるような「基金」があれば経営の安定化に役立つ。
- 納豆の廉価販売競争が激化している。競争に巻き込まれないためには、高付加価値商品(特別保健用食品等)の開発が不可欠であり、そのための技術革新が必要である。
- 同じ県産大豆「リュウホウ」でも産地によって加工適性が異なる。産地別にどの商品(豆腐、納豆等)に向くのかの整理が必要である。
- 豆腐・油揚げ業界も、低価格競争となっており、業界として県産大豆を使用した新たな高付加価値商品の開発が必要である。そのためには総合食品研究所等の支援をいただきたい。また、その首頭は組合がとるべきであるが、現状は難しくそれに向けた支援も必要である。
- スーパーでは値頃感のある麺のPB(プライベートブランド)商品が出回っており、よほど特徴のある商品でないと競争に勝てない。
- 少子化傾向や国の米飯回数増の方針等により、給食でのパンの提供量は減少している。技術力、商品力の強化に努めていくとともに、地元スーパーへの積極的な営業も進めている。

**運輸業 2月18日(木)**

- ダンピングは、相変わらず続いており、本来であれば東京までの運賃8万円が4万円となるような場合もあり、組合員に仕事を紹介したくても価格が安すぎて紹介できない。
- 環境問題への対応とドライバーの労働条件の改善が課題であり、付加価値サービスを具体化できた事業者が生き残ると考えられる。
- タクシー特措法が昨年10月に施行され、秋田交通圏と旧横手市の2地区が指定された。関係者による協議会が組織され、1回目の会議を行ったが総論賛成、各論反対という面がある。
- タクシー料金のダンピングは、そもそも代行の問題から始まっている。代行の車に人を乗せて走ってはいけなくはないはずであるが、守られていない。コンプライアンスの徹底をお願いしたい。



運輸業

**繊維製品製造業 2月23日(火)**

- メーカー側は低加工賃であるにもかかわらず商品に付加価値を求めてくるため、技術が追いつかず品質が落ちてしまう原因となっている。
- 何回か採用募集を行っているが、条件面で折り合いがつかず採用には結びついていない。地元雇用を増やすことが中長期的な課題である。
- 各組合員企業は経費節減等の努力を行っているが、最近の消費者は安価なものを求める志向が強く、我々の加工賃と同じ価格で販売されていることを考えると、長期的な展望が立てられないのが現状である。各企業が活性化するような国・県からの支援をお願いしたい。
- 理事長企業では、今まで新人社員に対し費用をかけて長期間にわたり訓練を行っていたが、今回の法改正により年間で@55万円×10人=550万円の支出が増えることとなり、訓練も十分出来ない状況となることが予想され、今後、雇用を維持することが出来るか不安である。
- 組合員企業の経費節減を考えた場合、組合の合併について検討する必要がある、組合が合併する場合の具体的な取り組み方や対応等について入国管理局と連携した支援をお願いしたい。
- 各組合員企業は、従業員の給料を下げながら必死で生き残りを図っている。新設企業への支

援も良いが、雇用対策として人件費に対する補助支援等、既存の企業が生き残るための支援についても是非お願いしたい。

- 秋田県アパレル産業振興協議会で以前取り組んだ県産ブランド開発のような仕事を、地産地消や雇用確保の観点からも、県が積極的に先頭に立ち、地元企業に与えてほしい。

**小売・商店街 2月25日(木)**

- テレビ販売が好調である分2011年以降の消費低迷が心配される。価格の安い量販店と違い、家庭訪問型の販売・サービスであるため、お客様のライフスタイルが実際に捉えることができるメリットを活かし、地域密着型を推進していきたい。
- 商品券の売上減少が昨年夏頃から顕著である。それに反し、昨年より取り扱っている家電エコポイントの商品交換は順調に推移しており、毎月200件前後(130万円程度)ある。しかし、代金決済まで3ヶ月もかかり資金繰りが課題である。
- ニューシティービルが取り壊されることで、今後、人の流れや、他の商店街への影響が心配される。
- 中心市街地の再開発には、「ワクワク」感がない。これは情報の公開が無かったり、議論を敬遠した進め方が影響している。
- 組合員は増えることなく減少の一途をたどっており、それに比例し資金も減少しており、事業やイベントの運営は大変困難となってきた。
- 中央会の支援を受けてホームページを開設した。商店街の紹介や各個店などを広くPRできるよう、ブログなども取り入れて運営している。
- 広小路・中央通りの一方通行規制は昭和49年にすべての交通が広小路を中心とする街区に集中していたことから、交通渋滞緩和を目的として実施された経緯がある。しかし、現在は中心街区では人を呼び込まなければならないのに交通環境は30年前の状態である。各都市計画による道路拡幅工事等の早期着工をお願いしたい。



小売・商店街



## “あきたの食”の試食求評会を開催！



3月12日(金)、本会では、秋田市の新名物を目指して開発した商品の試食求評会をホテルメトロポリタン秋田で開催した。本求評会は、秋田市の補助を受けて実施している「あきたの食発見・発信支援事業」における取り組みとして実施したもので、秋田市民が名物と誇れる商品（スイーツ）を開発し、秋田市民だけでなく、全国に発信していくことによって秋田市の活性化を図ることを事業の目的としている。なお、今回披露された試作品は、今回の求評会の結果を踏まえ、来年度以降の商品化へ繋げていくことにしている。

今回の求評会で披露されたスイーツは全10品目で、平成21年度において秋田市内の大学生（秋田県立大学、秋田公立美術工芸短期大学、秋田栄養短期大学）による検討委員会から出された開発アイデアを秋田県菓子工業組合組合員等の協力により試作した。

求評は、①美味しく見えること、②味、③市場性の3項目について5段階評価方式で行い、出席者のうち検討委員や行政（秋田市商業観光課）、秋田県菓子工業組合など18名が実際に試食し求評を行った。

また、本求評会には、昨年度の同事業において開発された商品（「招福与次郎そばいなり」を始めとした全26品目）のうち、評価の高かった「酒粕生キャラメル」「秋田三城絵巻弁当」の改良商品も披露された。

今回、評価の高かった試作品は次のとおり。



米粉のスポンジの上に生もろこしとずんだ餡のムース等がのっている。もろこしとずんだの味が絶妙にマッチしている。



生地小さくちぎられたきりたんぼが入った斬新なアイデアによるショートケーキ。ツブツブの食感も楽しい。



おこげやコハゼ（山野に自生するベリー）、寒天等をキューブ状にして盛り付けたデザート。おこげが視覚にも食感にもよいアクセントになっている。



上から梅酒、甘酒、卵酒の3層のゼリーとなっている。日本酒の風味が感じられ、秋田らしい大人の味に仕上がっている。

### 千秋公園で 試験販売を行います！

今回の試食求評会で披露された「秋田三城絵巻弁当」及び「酒粕生キャラメル」が、千秋公園の花見の時期に合わせ、試験販売されます。

さらに、昨年の試験販売で大反響を呼んだ「招福与次郎そばいなり」も販売予定となっています。

この機会に是非ご賞味下さい！



# 平成 22 年度 「匠の技」継承支援事業の 実施組合を募集！

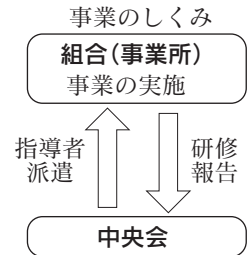
本会では、平成 21 年度に引き続き、「匠の技」継承支援事業を実施します。

本事業は秋田県からの受託事業であり、各業種の熟練技能を有する人材を若手技術者育成指導者として登録し、指導を希望する組合（事業所）に派遣する事業であり、優れた技術の継承や若手技術者の育成を目的としています。

本年度につきましては、下記のとおり募集しますので、是非お申し込み下さい。

- 実施期間 平成 22 年 5 月 6 日(木)～平成 23 年 3 月 31 日(木)
- 費用 指導者派遣等実施にあたっての費用は、**5 回派遣分まで無料**です。
- 募集数 **7 組合**（うち、2 組合は平成 21 年度の実施組合も応募可能）
- 申込締切 **平成 22 年 4 月 30 日(金)**

【お申し込み・お問い合わせ先】 本会 調査広報課 (☎ 018-863-8701)



## 平成 21 年度実施団体及び取り組み内容

### ①秋田県パン協同組合

- ・ ストレート法による山形食パンの製造技能習得
- ・ 学校給食パンの新アイテムの開発

### ②秋田県電気管理技術者協同組合

- ・ 移動用発電機の周波数及び電圧を手動にて調整し、商用系の電源に連携させる技術の習得

### ③秋田県畳商工組合

- ・ 四方縁（関東・関西の製法）の製作技能習得
- ・ 六角形鐘台（関東の製法）の製作技能習得
- ・ 四天付拝敷の製作技能習得

### ④秋田市建具工業協同組合

- ・ 組子基本作業の技術習得
- ・ 菱組子から葉入れ作業の技術習得と応用

### ⑤大館曲ワツパ協同組合

- ・ 伝統技術の基本習得

- ・ 機械の時代になり、手作業をする工程が少なくなったが、最後は手作業が重要であることがわかった。

### 【指導者より】（高橋順孝氏）

受講生については、今後昼業界を背負う受講生達の新しい技術を習得しようとする意気込みが感じられました。

### 【理事長より】（磯崎忠次郎理事長）

今日の畳製作作業は機械化され、手作業はほんの一部だけになってしまいました。今回取り組んだ特殊畳の製作はすべて手作業であったため、刺し糸のつぎ足しの仕方、講師の道具を見てその人の技術というものに触れることもでき、職人にとっての道具の大切さも感じ取れたと思います。今回の取り組みにより、若手技術者の研究心が湧き、技術の面でも技能の面でもレベルが上がることと思います。

## 取り組みを終えて・・・

～秋田県畳商工組合の取り組みから～

### 【受講者より】

- ・ 作業を一通り最後まで作業してみて、1つの工程に何種類ものやり方があることがわかり、勉強になった。
- ・ 今回の研修で、応用が出来る幅が広がった。学んだ技術・技能を自分のものにしていきたい。



秋田県畳商工組合の研修風景

# 新卒者就職応援プロジェクト事業がスタート！

## ～新卒者受入団体が決定～



審査会

本会では、国の平成21年度第2次補正予算において創設された「新卒者就職応援プロジェクトコーディネート等事業」で応募のあった団体について、3月16日に審査会を行い、委託先を決定しました。

本事業は、平成21年度の大学等新卒者の就職内定率が大変厳しい状況の中で、平成22年3月に大学等を卒業した未就職者（新卒者）を対象としており、長期間の職場体験（インターンシップ）等により、中小企業の生産現場等に触れながら、中小企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得してもらうことで、中小企業と未就職者の人材確保の橋わたしを支援することを目的としている。

採択された団体は次のとおり。

秋田県印刷工業組合（秋田市・大門一平理事長）  
 協同組合秋田卸センター（秋田市・桑原功理事長）  
 秋田県商工会連合会（秋田市・村岡淑郎会長）  
 （順不同）

### 新卒者就職応援プロジェクト事業の概要

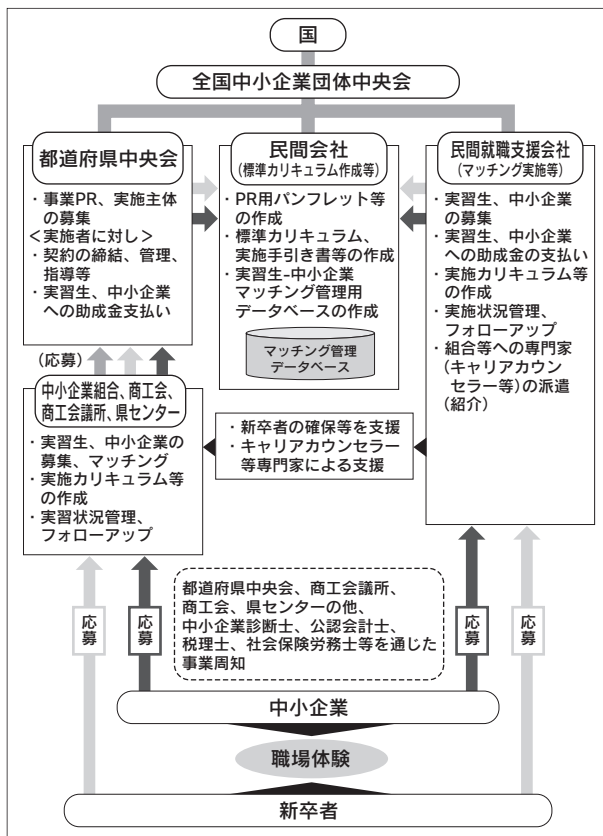
- ① 中小企業組合等が事業の実施団体（コーディネート機関）となり、新卒者の募集やカリキュラムの作成、実施状況の管理等を行う。
- ② 各団体の組合員（会員）企業は、カリキュラムに基づき、原則6カ月の職場体験等（インターンシップ）を実施する。
- ③ 実施団体は、実習生、中小企業双方に対して専門家によるカウンセリング等を行う。また、職場体験終了後も、実習生の意識調査や内定状況等についてフォローアップを行う。
- ④ 実施期間中、実習生には技能習得支援助成金（日額7,000円/人）、受入企業には教育訓練費助成金（日額3,500円/人）が支給される。

### 事務局ご紹介



秋田県中小企業団体中央会  
 新卒者就職応援プロジェクト事務局  
 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47  
 TEL 018-863-8701  
 FAX 018-865-1009  
 池田 敬 URL <http://www.chuokai-akita.or.jp>

### 参考：「新卒者就職応援プロジェクト」のスキーム



### 新卒者（職場体験実施希望者） 募集のお知らせ

本事業を活用し、職場体験を希望する本年3月卒業の就職未内定者を募集しております。大学、高校等を問わず、広く新卒者を募集しておりますので、左記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。



# 組合等Web構築支援事業でホームページを制作!

part2

平成21年度において、6組合等が「組合等Web構築支援事業」(全国中小企業団体中央会補助事業)を活用し、ホームページ(以下、HP)を制作しました。組合等の担当者にHPのポイント(特徴等)を伺いましたので、2月号でご紹介した3組合に引き続き、ご紹介致します。



## 秋田県製麺協同組合

(近藤隆平理事長、24組合員)



- ・ 「四季折々の麺」コーナーを設け、人気料理研究家の高堂路子さんによる麺料理のレシピを紹介している。
- ・ 組合からのお知らせを簡単に更新できるように、ブログを採用した。これにより、組合員の新商品等の情報を写真付きで紹介している。
- ・ 「男の手打そば」コーナーでは、動画でそばの打ち方を紹介している。

<http://www.chuokai-akita.or.jp/akitanoemen/>

## 湯沢市柳町商店街協同組合

(飯塚哲夫理事長、44組合員)



- ・ HP上にお得なクーポンを掲載し、閲覧者が自由に印刷して利用できるようにしている。
- ・ 商店街マップを作成し、各店舗をクリックすると写真付きの詳しい店舗情報が表示されたり、自前のHPが表示されるようになっている。
- ・ ブログでは、組合等のイベント告知を始め、イベントの準備状況や商店街の日常などを随時更新している。

<http://www.yanagimachi-inukko.com/>



## あきたのにごり酒の会

(奥田酒造店、栗林酒蔵店、山本合名会社)



- ・ 蔵元がそれぞれにごり酒をPRするより、共にPRしていく方がメリットが多いと考え、同じ志を持つ蔵元がにごり酒の酒質向上と消費拡大を目的に「あきたのにごり酒の会」を結成し、HPを開設した。
- ・ HPでは、秋田のにごり酒の特徴と各蔵元のごり酒について解説している他、各蔵元のHPから詳しい情報が得られる。

<http://www.nigorizake.info/>

# 景況レポート

(2月分・情報連絡員 80名)

## 厳しさ続くも悪化度はやや緩和

**【概況】** 2月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが6.3% (前月調査5.0%)、「悪化」が60.0% (同68.8%)で、業界全体のDI値は-53.7となり、前月調査と比較し10.1ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-56.2で前月調査(-71.9)に比べ15.7ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-52.0で前月調査(-58.3)に比べ6.3ポイント上回った。

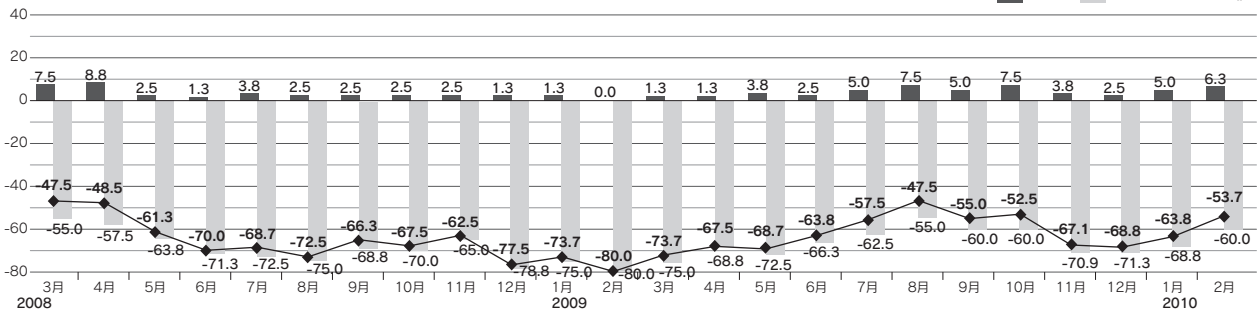
消費の落ち込みによる売上不振や、受注の減少による経営圧迫の声が多く、景況感は依然として厳しい。そうした中、自動車・家電販売は引き続き前年同月を上回り、繊維製品製造業の一部では受注量が増加、一般機器製造業はやや持ち直しの傾向が見られた。  
(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

**【凡例】**  
 快晴 30以上  
 晴れ 10以上 30未満  
 曇り 10以上 10未満  
 雨 △30超 △10未満  
 雷雨 △30以下  
**【天気図の見方】**  
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

\*DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、増加 (好転) したとする企業割合から、減少 (悪化) したとする企業割合を差し引いた値です。

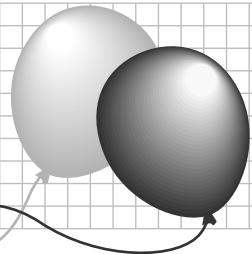
業界全体好転悪化割合 [前年同月比]



### 業界の声

豆腐油揚製造	消費低迷の実感はある業界でも感じられる。取引先のスーパーの売上は、良く横ばいという状況であり、売上は伸びない。
清酒製造	1月分の清酒出荷量は1,094kℓで、前年同月比91.9%で推移した。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比で113.8%、純米酒が87.8%、本醸造酒が80.6%、レギュラー酒が92.9%という状況になっている。
麺製造	スーパー等の売上減少を見ても分かるように消費者の購買意欲がなく、昨年より売上が低迷している。
繊維・同製品	2月は幾分受注量が増加した。昨年秋から1月までは仕事量が激減していたが、ここに来て平日に休業しなくても良い状況になってきた。
木材・木製品	冬期間ということもあり2月の売上は落ち込みが激しかった。杉集成材用ラミナは堅調に推移している。
一般機器	業況は全般的にやや持ち直しの傾向が見られるが、資金繰りは依然として厳しい。
自動車販売	2月の新車販売台数は、登録自動車が1,943台(前年同月比143.2%)、軽自動車が1,641台(同99.8%)で、合計3,584台(同119.4%)であった。登録自動車は8カ月連続して前年同月を上回った。
電機販売	エコポイントの効用が続いており、売上は増加している。
石油製品	ガソリン1ℓ当たり128円で前月比3円の引き上げ、軽油は1ℓ当たり106円で前月比2円の引き上げ、灯油(配達込み)は18ℓ宅配で1,354円で前月比64円の引き上げとなった。今冬の灯油は、昨年12月以降数量は出ているが、昨シーズンと比べマージンは悪化している。
商店街	業種によって違いはあるものの、量販店と競合する業種である酒、日用雑貨、薬局、文具は特に苦戦を強いられ、資金繰り・収益確保が難しい状況にある。[秋田市] 来客数・売上高ともに減少傾向が続いている。新入学シーズンを迎え、関連業種は実績を作っているが、生徒数の減少と競合により前年に比べ売上はややマイナスとなっている。[大館市]
旅館	前月に引き続き韓国からの観光客は好調を維持しているが、国内旅行が全く動かない状況であり、厳しさが増している。
砂利	県内産骨材が減少し、価格も安定しない。県南では生コン用骨材が増加したが、先送り作業が集中したため、全体的には出荷量は鈍い。

# 話題の広場



## 中央会事業 より

### 年度末事務セミナーを開催！

去る3月18日(木)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、年度末事務セミナーを開催した。

このセミナーは、決算期における組合の事務処理・事務手続や会計処理・税務申告等の適正化と組合事務局役職員の資質向上を図ることを目的に開催したもので、税理士の武田亨氏からは、「年度末における決算・税務申告のポイント」、また、本会職員からは、「登記・届出事務手続きについて」の説明が行われた。

登記・届出事務手続きにおける主な留意点は、次のとおり。

#### 所管行政庁への提出・届出

- 組合は、毎年、「決算関係書類提出書」を通常総会終了の日から**2週間以内**に、所管行政庁に提出しなければならない。
- 役員の変更(前役員全員が再び選任され、実質的な変更がない場合も含む。)を行った組合は、**変更の日から2週間以内**に「役員変更届出書」を所管行政庁に提出しなければならない。また、役員の名又は住所に変更があった場合も同様である。
- 所管行政庁への提出・届出書類に記載する組合住所は、番地を「-」記号に略さず、**登記住所で記入**する。

#### 定款変更

定款変更の内容によっては所管行政庁との協議が必要な場合があるため、**事前に本会にご相談下さい。**

#### 変更登記

- 出資総口数及び払込済出資総額に変更があった場合は、毎事業年度末日現在の出資総口数及び払込済出資総額を、**当該年度が終了した日から4週間以内**に変更登記を行う必要がある。
- 代表理事の変更(前代表理事が選任され、実質的な変更がない場合も含む。)を行った場合は、**変更の日から2週間以内**に変更登記を行う必要がある。

## 新会員紹介

### 協同組合あきた安心リフォーム協議会



#### 【組合の紹介・PR】

リフォーム業界においては、リフォーム工事に積極的に力を入れてこなかった県外の大手ハウスメーカーが業界へ参入するなど、競争が激化しております。

中村瑞樹理事長

また、姉齒問題に端を発する手抜き工事や悪質な訪問販売を行うリフォーム業者が話題になるなど、当業界全体の信頼が揺らいでいるのが実情です。

このような状況下において、一般消費者が適正価格で適正なリフォーム工事を安心して受けられる環境を提供するため、長年にわたり地元へ密着した営業を地道に重ねてきた私達が手を結び、それぞれの企業の研鑽に努めるとともに業界の信頼向上及び工事品質のレベルアップを図るため、組合を設立しました。

- ◆住所 秋田市大町2丁目6番29号
- ◆代表理事 中村 瑞樹 ◆出資金 650,000円
- ◆組合員数 13名
- ◆成立年月日 平成22年3月8日
- ◆主な事業 建築リフォーム工事の共同宣伝、資材の共同購買、事務代行、調査・研究

## インフォメーション Information

### 組合士試験に本県から7名が合格！

昨年12月6日(日)に行われた平成21年度中小企業組合検定試験の合格者が3月1日に発表され、次のとおり本県から7名が合格しました。(五十音順・敬称略)

- 石村 達也(株式会社商工組合中央金庫秋田支店)
- 岩谷 寿美子(協同組合秋田卸センター)
- 小山 秀基(株式会社商工組合中央金庫秋田支店)
- 大工原 清(協同組合和幸社)
- 高橋 真樹子(秋田たばこ販売協同組合)
- 土田 慎(秋田県商工振興協同組合)
- 山谷 伸朗(能代山本生コンクリート協同組合)

○平成22年度の受験を希望される方は、本会調査広報課までご連絡下さい。(☎018-863-8701)



## 中央会ホームページをリニューアルしました！

本会では、会員組合並びに組合員企業の皆様の利便性の更なる向上を図るべく、本会のホームページを3月24日(水)にリニューアルしました。是非、ご活用下さい。



URL <http://www.chuokai-akita.or.jp/>

## 支援団体 活動レポート

### 平成 22 年度通常総会を開催

～秋田県中小企業団体事務局協議会～

秋田県中小企業団体事務局協議会（鳥居史郎会長、52 会員）は、3月5日(金)に秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、平成 22 年度通常総会及び講習会を開催しました。

総会では、任期満了に伴う役員改選が行われ、鳥居会長が再任されました。

また、総会終了後に行われた講習会では、「日本一なんかカンタンだ！」と題し、プリコラボ有限責任事業組合の鈴木正洋代表が講演しました。

講演では、「事業を行う場合は、誰もやっていない“非常識”なことをやらなければ生き残れない。アイデアを生むのは個人の直感と試行錯誤であり、多数決は愚の骨頂である。」と話し、参加者は熱心に聴講していました。



講演する鈴木正洋氏



## 事務局訪問！

## 組合ティールーム



湯沢市柳町商店街協同組合  
事務局 高橋由香さん

—仕事の内容を教えてください。

組合事務の全てを担当しています。組合の事務局として12年目になりますが、事務局はずっと私一人ですので、各種の書類作成や経理、商店街のイベントサポート、ホームページの更新等、全てを一人で行っています。

—今熱中していることは何ですか？

熱中という程ではありませんが、温泉巡りをしています。元々は秋田市出身なのですが、湯沢市周辺にはいい温泉がたくさんあってびっくりしました。週末はよく温泉に出掛けています。

—モットーは何ですか？

仕事も遊びも「今日できることは、明日に延ばさない。」ということを中心にしています。特に仕事においては、自分一人ですので、自分への約束として大事にしています。

—愛読書があれば教えてください。

本ではありませんが、日本地図が大好きです。地形を見てみると、その地域の特産品などに思わず納得してしまいます。

### 平成 22 年度

### 本会通常総会開催(予定日)のご案内

○日時 平成 22 年 6 月 11 日(金) 午後 2 時～

○場所 秋田市「秋田キャスルホテル」

(秋田市中通 1-3-5)

※ 正式には、4月22日に開催される理事会で決定されます。

## 来月号から「商工あきた」が 「中小企業あきた」となります！

本会機関誌は、来月号で創刊 600 号となります。これに合わせ、「商工あきた」を新名称「中小企業あきた」に変更します。

また、名称変更に先がけ、本号から、組合の事務局を紹介する「組合ティールーム」を新コーナーとして加えたほか、「景況レポート」のデザインを大幅に変更しました。今後とも皆様に役立つ情報を提供して参りますので、本会機関誌をよろしくお願ひします。

# 人事異動のお知らせ

【秋田県】（4月1日付）

産業労働部（商工関係）の転入者及び転出者は次のとおりです。  
なお、次のとおり、部・課等の名称変更及び再編がありました。

産業経済労働部 → 産業労働部（名称変更）  
産業経済政策課 → 産業政策課（名称変更）  
地域産業課 → 地域産業振興課（再編）  
地域産業課誘致企業室 → 産業集積課（再編）  
流通貿易課 → 商業貿易課（名称変更）  
流通貿易課食彩あきた推進室 → 食品産業課（再編）

《転入》（ ）は前職、〈 〉は派遣 敬称略

## ◎産業労働部

- 部長 柴田 誠（産業経済労働部次長）
- 産業労働部部長待遇（兼）東京事務所長  
福原 秀就（東京事務所長）
- 次長 斉藤 俊高  
（知事公室参事（兼）東京事務所企業・人材支援課長）
- 次長 関根 浩一（流通貿易課長）
- 食農観連携統括監 東海林 文和（資源産業課長）
- 新エネルギー政策統括監  
佐々木 誠（環境エネルギー推進課長）
- 産業技術総合研究センター工業技術センター所長  
鎌田 悟（産業技術総合研究センター  
経営企画部長）
- 企業立地事務所長 黒木 孝人（地域産業課長）
- 課長待遇 草薨 利健（環境エネルギー推進課主幹）
- 課長待遇〈信用保証協会〉  
佐藤 功（科学技術課主幹）
- 課長待遇〈活性化センター〉  
佐々木 浩二（食彩あきた推進室長）
- 課長待遇〈活性化センター〉  
高橋 徹（産業経済政策課政策監）
- 課長待遇〈活性化センター〉  
高橋 俊晴（総務課総合調整主幹）
- 課長待遇〈東北経済連合会〉  
佐藤 雅彦（学術国際政策課政策監）
- 課長待遇 柴田 健（公営企業課技術管理監）
- 商業貿易課長 武田 宏巳（産業経済労働部課長待遇）
- 食品産業課長 熊谷 譲（北秋田地域振興局農林部長）

## ◎産業政策課

- 課長 佐々木 定男（雇用労働政策課長）
- 総合調整主幹 金 善則（総務事務センター主幹）
- 副主幹 市川 道子（総務事務センター副主幹）
- 副主幹 齊藤 大幸（産業経済政策課主査）
- 副主幹 大森 範孝（学術国際政策課副主幹）
- 副主幹 石川 定人（障害福祉課副主幹）
- 副主幹 岡崎 佳治（都市計画課副主幹）
- 主査 熊谷 政広（計量検定所主査）
- 主査 高橋 喜代孝（学術国際政策課主査）
- 主査 鷲谷 昇（医師確保対策推進室主査）
- 主査〈岩手県〉 佐々木 太樹也（産業経済政策課主任）
- 主任 小野寺 孝（市町村課主事）
- 主任 小田野 光弘（産業技術総合研究センター  
総務管理部主任）
- 主事 佐藤 孝仁（計量検定所主事）
- 主事 内藤 麻衣子（地域産業課主事）

## ◎地域産業振興課

- 課長 出雲 隆志（財政課考査員）
- 主幹 兼子 達弘（地域産業課副主幹）
- 副主幹 羽川 彦祿（議会事務局議事課副主幹）
- 副主幹 佐藤 明（医工連携プロジェクトチーム副主幹）
- 副主幹 成田 直（産業技術総合研究センター  
工業技術センター主任研究員）
- 副主幹〈活性化センター〉  
保坂 一仁（建設管理課副主幹）
- 副主幹〈活性化センター〉  
千葉 隆（産業技術総合研究センター  
高度技術研究所主任研究員）

○副主幹〈活性化センター〉

- 進藤 啓介（福祉政策課副主幹）
- 主査 安保 敬洋（仙北地域振興局農林部主査）
- 主査 白木 智昭（東京事務所企画政策課主査）
- 主査〈活性化センター〉  
秩父 慎吾（地域産業課主任）
- 主査〈活性化センター〉 阿部 秀樹（地域産業課主任）
- 主査〈活性化センター〉  
富樫 啓悦（秋田地域振興局総務企画部主査）
- 主任 佐藤 聡（科学技術課主事）
- 主任〈活性化センター〉  
佐藤 真也（会計管財課主任）

## ◎産業集積課

- 課長 山口 武秀（誘致企業室長）
- 主幹 永井 義之（地域産業課主幹）
- 主査 佐々木 英樹（由利地域振興局総務企画部主査）
- 主査 大門 英明（由利地域振興局総務企画部主査）

《転出》〈 〉は派遣

## ◎産業経済労働部

- 秋田地域振興局長 森田 新一郎
- 労働委員会事務局長 大久保 努
- 産業技術総合研究センター経営企画部長 山脇 康平
- 資源エネルギー産業課長 飯塚 政範
- 監査委員事務局監査第二課長 作左部 雅
- 建築住宅課市街地再開発推進監 佐々木 孝弘
- 少子化対策局少子化対策推進監 佐藤 真美

## ◎産業経済政策課

- 由利地域振興局長 伊藤 邦夫
- 産業経済労働部課長待遇〈活性化センター〉 高橋 徹
- 総務課総合調整主幹 中嶋 辰治
- 北秋田地域振興局総務企画部地域企画課長 千田 克彦
- 教・生涯学習課副主幹 奥山 博史
- 農林水産技術センター総務管理室副主幹 上村 直志
- 資源エネルギー産業課副主幹 小西 弘紀
- 総合防災課副主幹 小林 栄幸
- 北教育事務所主査 大塚裕美子
- 北児童相談所主査 石塚 誠
- 東京事務所企画政策課主査〈関東自動車〉 加沢 学
- スポーツ振興課主査 吉尾 千秋
- 秋田技術専門校主任 佐々木 直子
- 商業貿易課主事 戸嶋 悦子

## ◎地域産業課

- 企業立地事務所長 黒木 孝人
- 学術国際局課長待遇〈国際教養大学〉 米澤 輝夫
- 団体指導室主幹 佐々木 雅
- 産業集積課主幹 永井 義之
- 財産活用課副主幹 村上 寛
- 市町村課副主幹 伊藤 真人
- 八郎湖環境対策室副主幹 佐藤 裕之
- 自然保護課副主幹 齋藤 寿幸
- 長寿社会課主査 石川由美子
- スポーツ振興課副主幹 笠井 潤
- 産業政策課主事 内藤麻衣子

## 【誘致企業室】

- 産業集積課長 山口 武秀
- 温暖化対策課主幹 池田 孝
- 総合政策課政策監 館岡 和
- 秘書課副主幹 出茂 正美
- 秋田地域振興局建設部副主幹 近藤 雅
- 企業立地事務所主査 黒田 逸人
- 東京事務所企画政策課主任〈政策研究大学院大学〉 岡 正悟

【株式会社商工組合中央金庫秋田支店】（4月1日付）

《転入》（ ）は前職

敬称略  
○秋田支店副業務役 工藤 三知夫（仙台支店副業務役）

## 《転出》

- システム部調査役 永井 拓也
- 新宿支店調査役 沼田 忠相

【秋田県中小企業団体中央会】(4月1日付け)

( )は前職

○事務局長 高橋 公悦  
(連携組織支援部副部長兼商業振興課長)

**総務部**

○総務部長兼総務企画課長 山本 浩一  
(連携組織支援部副部長兼横手支所長)

○総務部調査広報課長 佐藤 郁夫  
(商業振興課主幹)

○総務部調査広報課主任 伊藤 千恵子  
(総務企画課主任)

○総務部調査広報課主任 谷口 秀明  
(調査広報課主事)

**事業振興部**

○事業振興部商業振興課長 本間 昭彦  
(調査広報課長)

○事業振興部工業振興課主幹 堀井 清一  
(調査広報課主幹)

○事業振興部横手支所長 加藤 謙太  
(工業振興課主査)

○事業振興部大館支所主査 内藤 陽子  
(大館支所主任)

※なお、次の通り部名が変更になりました。

(旧) 連携組織支援部 → (新) 事業振興部

【新規採用職員のお知らせ】

4月1日付けで職員を新規採用しました。宜しく  
お願い致します。



稲葉 健  
(いなば けん)

事業振興部商業振興課  
主事



原田 千凡  
(はらだ ちなみ)

総務部総務企画課  
主事補

【職員退職のお知らせ】

本会事務局長斉藤信郷さん、総務企画課長佐々木いほ子さんが3月31日をもって定年退職致しました。

斉藤信郷さんは昭和48年4月から37年間、佐々木いほ子さんは昭和46年4月から39年間にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされたとともに、本会の発展にも大きく貢献されました。

斉藤信郷さん、佐々木いほ子さんの今後のご活躍を期待致します。





商工あきた

平成22年4月1日発行（毎月1日発行）第599号

発行／秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷／秋田活版印刷(株)

定価280円